

2015年 審査員・メンター一覧

審査員

- 伊藤 毅

Beyond Next Ventures 株式会社 代表取締役社長

2003年東京工業大学大学院 理工学研究科化学工学専攻修了後、ジャフコ入社。ジャフコにて主にリードインベスターかつ社外取締役として支援した先には、CYBERDYNE(2014年3月東証マザーズ上場)、Spiber、クオンタムバイオシステムズ、サイフューズ、マイクロ波化学等があり、大学発の技術シーズ段階からの事業化支援および投資活動に関して多数の実績と経験を有する。

2014年7月にジャフコを退社し、2014年8月に大学発ベンチャー、技術系ベンチャーのシードステージからのインキュベーション投資事業を行うことを目的に Beyond Next Ventures 株式会社を創業し、代表取締役に就任。2015年2月より1号ファンドを組成し、主にシード・アーリーステージの大学発ベンチャーへの投資を手がける独立系ベンチャーキャピタルとして活動中。

現在、Spiber 株式会社、リバーフィールド株式会社、株式会社キュア・アップの社外取締役に兼務。

技術系ベンチャーが今後の日本の新産業を創っていくと信じています。創業者と共に、世界に貢献できる技術系ベンチャーを数多く支援していきたいと思っています。



- 小笠原 治

株式会社 ABBA Lab 代表取締役

さくらインターネットの共同創業者としていち早くクラウドサービスを手掛ける。

その後、シェアオフィスや飲食を手掛けながら、IT関連のスタートアップを支援する株式会社 nomad を設立。さらに2013年、IoT時代のモノづくりを支援する株式会社 ABBA Lab を設立。株式会社 DMM.com と株式会社 Cerevo と 共同で、3D

プリンターサービスなどを中心にしたハードウェア・スタートアップの支援を行う「DMM.make」を設立し現在はエヴァンジェリストとして活動。本年よりさくらインターネットにフェローとして復帰。1971年京都府京都市生まれ。



- 曾我 弘

株式会社カピオン 代表取締役

新日本製鐵(株)退職後、20年間シリコンバレーに移住、数社のStartupを創業、Spruce Technologies, Inc. (DVD制作システム)を2001年Appleに売却。翌年SVJEN(NPO)設立CEO。

2010年末帰国後、2011年能登左知と株式会社カピオンを創業NEDO、大学を中心にメンター活動を推進中。また本業と共に日本の技術の商業化とグローバル展開を目指しシリコンバレーでBlue Jay Energy, Inc.を吉川絵美と創業、現在日本大手企業と共同でインドネシアでの事業化を検討中。



- Claude Leglise

Claude Leglise is a Visiting Senior Executive at SRI International (formerly Stanford Research Institute) where he focuses on the commercialization of scientific innovation. He has lectured and taught innovation management at the Stanford Graduate School of Business, Tokyo University, University Technology Malaysia, Paris Tech, Lappeenranta University of Technology (Finland), as well as many private companies. He is currently coaching

entrepreneurs in China, France and Japan.

Leglise is the Chairman and co-founder of ClearSpot Energy, Inc., a solar electricity services company serving large-scale commercial users of power in California.

Leglise combines extensive global venture investing experience with a long track record in technology marketing and general management. Before launching ClearSpot Energy, he was Managing Director of the WI Harper Group, a Chinese-American venture capital firm. Prior to that, he was Vice President of Intel Capital, where he was responsible for making over 150 equity investments, including CSR, SuSe, Passave, BCD Semiconductors, Linkage Technology, and Techfaith Wireless, in 25 countries.

At Intel, Leglise spent 12 years in general management positions, first leading the design and marketing of the world's first million-transistor microprocessor. He started the company's collaboration with the software industry and managed the growth of the Developer Relations Group from 2 to over 300 software engineers. As VP of the Home Products Group, he built a \$250M consumer business and served on Intel's Executive Staff.

Leglise has served on numerous public and private company boards, including Netlist (Nasdaq: NLST), Camelot Information Systems (NYSE: CIS), SupportSoft (Nasdaq: SPRT). Claude received a master's degree in Electrical Engineering from École Nationale Supérieure d'Arts et Métiers, in Paris, France, an MBA from Stanford University in Palo Alto, California, and a Chinese Language Certificate from Peking University in Beijing, China. When not working in Silicon Valley, he manages a family-owned cattle ranch in Eastern Idaho.



- 松田 一敬
合同会社SARR 代表執行社員

慶応大学経済学部卒業後、山一証券(株)証券引受部を経て、同社ロンドン現地法人にて中東、アフリカ、東欧諸国等を担当する。その後、国内初の地域密着型ベンチャーキャピタルを設立。2000年6月に札幌 Biz Cafe を設立、サッポロバレーの IT ベンチャーを支援。地元 IT 企業の株式公開に繋げる。2000年9月、国立大学発ベンチャー第1号(北海道大学発)の設立に関与する等、大学発ベンチャー支援の国内の草分け。製薬企業向けマイルストーン契約の締結等、知財の事業化の実績を積む。2011年4月に合同会社 SARR を設立。起業家教育、ハイテクスタートアップの支援等を行っている。

INSEAD(欧州経営大学院、フランス)にて MBA 取得、小樽商科大学大学院商学研究科修士課程修了(修士(商学))、北海道大学大学院医学研究科博士課程修了(医学博士)。



- 各務 茂夫

東京大学 産学連携本部 イノベーション推進部長 教授

一橋大学商学部卒、スイス IMEDE(現 IMD)経営学修士(MBA)、米国ケースウェスタンリザーブ大学経営学博士。ポストンコンサルティンググループを経て、コーポレートディレクション(CDI)の設立に参画、取締役主幹、米国 CDI 上級副社長兼事務所長を歴任。学位取得後、ハイドリック&ストラグル社にパートナーとして入社。2002年東京大学大学院薬学系研究科教員となり、2004年東京大学産学連携本部 教授・事業化推進部長に就任。2013年4月から現職。大学発ベンチャー支援、学生起業家教育に取り組む。



- 佐藤 正義

株式会社三井住友銀行 法人戦略部成長事業グループ長

銀行支店業務を経験後、1999年よりエヌ・アイ・エフベンチャーズ株式会社に出向し、ベンチャー投資調査業務に従事。その後、三井住友銀行にて、ベンチャー・成長企業向け融資業務を中心に多数のベンチャーファイナンス案件に携わった後、大和証券SMBC株式会社において、IPOを主とする引受審査業務を経験。2009年より三井住友銀行に復職し、現在、法人戦略部成長事業グループにて、IPOを志向するベンチャー・成長企業向け投融資、IPO支援等、各種の成長支援業務に取り組んでいる。早稲田大学大学院ファイナンス研究科修了(MBA)。



- 高井 一也

国立研究開発法人産業技術研究所

イノベーション推進本部 審議役(兼務 ベンチャー開発・技術移転センター長)

熊本大学薬学部卒、博士(薬学)、技術士(化学部門)。製薬・農薬メーカーで研究開発、熊本大学で知的財産および産学連携の業務に従事。2005年4月、独立行政法人産業技術総合研究所に入所、知的財産マネジメントおよび技術移転に携わる。2015年4月より現職、産総研の研究成果の事業化を推進するため、ベンチャー創業による事業化、知的財産のライセンスによる技術移転に取り組んでいる。



- 東條 吉朗

日本貿易振興機構(ジェトロ) JETRO サンフランシスコ所長
JETRO サンフランシスコ所長。経済産業省、京都大学、経済協力開発機構(OECD)、NEDO、JETROなどで、広くイノベーションに関する経済分析・政策立案、技術開発、スタートアップ支援などに携わる。2014年8月から現職。NEDOプログラムアドバイザーを兼務し、本プログラムをはじめ国内外の多くの起業支援枠組みに参画・協力し、日米の技術シーズの事業化・グローバル展開に取り組んでいる。



- 春田 真
株式会社ベータカタリスト 代表取締役 CEO
1992年4月、株式会社住友銀行に入行。同行退職後、2000年2月 株式会社ディー・エヌ・エーに入社、同年9月に取締役 CFO に就任。2008年7月、常務取締役 CFO に就任。2011年6月、取締役会長に就任。DeNA の上場を主導するとともに大手企業との JV 設立や横浜 DeNA ベイスターズの買収等 M&A を推進。2015年4月 株式会社ベータカタリスト設立。代表取締役就任。



- 吉岡 恒
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)
イノベーション推進部主幹
1992年 NEDO 入構(地熱調査部)。その後、気候変動対策関連の業務を中心に従事し、2013年より技術開発推進部(現:イノベーション推進部)において、ベンチ

ヤーの技術開発助成、スタートアップイノベーター(SUI)等の起業支援業務を行う。北海道大学工学研究科修士課程修了。



- 東 博暢

株式会社日本総合研究所 戦略コンサルティング部融合戦略クラスター長
大阪府立大学大学院工学研究科(電気・情報系)修士課程修了。ソーシャルベンチャー支援やソーシャルメディアの立ち上げを経て、2006年日本総合研究所入社。民間セクターに対しては、PMI、新規事業開発戦略策定、イノベーション戦略策定支援等を、公共セクターに対しては、主に情報通信分野における社会実証実験を通じた法制度改正、ガイドライン策定支援等を実施している。官民協働(PPP)事業においては、スマートシティ戦略などの都市開発支援を実施している。現在は、ICTを軸にしたあらゆる産業との融合領域におけるインキュベーション/コンサルティング活動を実施している。その他、デジタル教科書教材協議会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会の理事、台湾経済部のシンクタンクの專案諮詢および総務省等の政府機関、民間団体の研究会の委員等も歴任している。



(順不同)

メンター

- 石倉 大樹

株式会社日本医療機器開発機構 取締役

医療分野での起業・新規事業開発に特化。自ら創業メンバーとして参画した創薬ベンチャー・アキュメンバイオフーマは、日本で初めて大学発の技術を事業化した会社として上市(欧州)に成功。その後は医療 IT ベンチャー・エムスリーにて、製薬企業及び医療機器メーカーの治験を加速化させる IT サービスの新規事業開発をリード。スタンフォード大学経営学修士課程(MBA)留学中には、Medicine X の Innovation Sourcing Team として、mHealth 及び Health Tech の startup を投資検討し、Biodesign プログラムも経験。現 P5,Inc.取締役。平成 27 年度東京大学大学院薬学系研究科非常勤講師。



- 植波 剣吾

Beyond Next Ventures 株式会社 取締役、パートナー

2003 年に株式会社ジャフコに入社し、主に IT 分野のベンチャー企業への投資業務に従事。2007 年以降は、同社において、ファンド募集・設立、法務・コンプライアンス、金商業規制・当局対応、危機対応、広報・IR 等の重要業務に中核メンバー・責任者として従事。ベンチャーキャピタルにおける業務全般に幅広い経験を有する。2015 年 3 月、Beyond Next Ventures 株式会社 取締役に就任、現在に至る。中央大学法学部卒。



- 潮 尚之

ITPC (International Technology Partnership Center) プリンシパル

松下電器産業(現パナソニック)において ITS(高度道路交通システム)をはじめとした様々なビジネス・技術分野でのグローバルな事業開発やアライアンスを推進。

2002 年から 2005 年まで米国においてベンチャー企業や大学との技術連携推進の責任者を担当。

2006 年に、ビジネス・コンサルタントとして独立して ITPC を設立するとともに、シリコン・バレーの画像認識技術ベンチャー(piXlogic 社)の一員に。

現在、シリコン・バレー及び東京を拠点として、欧米の有望なベンチャー企業の発掘と日本進出のサポート、グローバルとオープン・イノベーションの志向の強い日本企業の海外動向調査や米国進出のサポートなど、インターナショナル・ビジネス・デベロップメントの専門家として活動中。

また、大阪府立大学 EGDE プログラムのシリコン・バレー代表及び東京大学 TLO のアドバイザーも担当。

画像処理、音声認識、ワイヤレス、センサー、可視光通信、クリーンテック等の幅広い分野をカバー。慶応義塾大学文学部人間科学専攻卒。



- 大木 美代子

Serend プリンシパル

日本 IBM でグローバルマーケティングに従事後、私費留学で渡米。ビジネス修士号取得後、シリコンバレーの大小様々な IT 企業で、グローバルビジネス開発に携わる。2013 年 1 月に独立、コンサルティング会社 Serend (<http://www.serendinc.com>)をスタート。アメリカ、アジアのスタートアップ、中小企業、大企業、アカデミア、政府機関などに対して、機会創出支援、戦略設定、ハンズオンのマーケティング業務のサポートなどを行っている。



- 岡田 朋之

Tortuga Pacific Inc. ビジネス開発担当 VP

WiTricity Corporation 営業コンサルタント VP

JABI (Japan America Business Initiatives) 理事、ナビゲーター

米国モトローラにて携帯電話開発エンジニア、設計開発チームのマネージャーを経て、日本モトローラに赴任。新規 R&D プロジェクトマネージャー、次世代携帯電話技術部長、モトローラジャパン PCS 事業部長、モトローラジャパン常務取締役を経て、米国に帰国。シリコンバレーにて携帯電話 OS のスタートアップ、組み込みソフトウェア企業の米国社長兼役員やシリコンバレーベンチャー企業の社外取締役を経験。現在はワイヤレス、ソフトウェア、IoT、半導体関連の技術営業やビジネスコンサルタントとして活動中。シリコンバレーを拠点に、日本のスタートアップ及び中小企業の米国進出支援、大企業のグローバルマネジメント支援を行っている。

アリゾナ州立大学電子工学科卒



- 小笠原 治

株式会社 ABBA Lab 代表取締役

さくらインターネットの共同創業者としていち早くクラウドサービスを手掛ける。

その後、シェアオフィスや飲食を手掛けながら、IT 関連のスタートアップを支援する株式会社 nomad を設立。さらに 2013 年、IoT 時代のモノづくりを支援する株式会社 ABBA Lab を設立。

株式会社 DMM.com と株式会社 Cerevo と 共同で、3D プリンターサービスなどを中心にしたハードウェア・スタートアップの支援を行う「DMM.make」を設立し現在はエヴァンジェリストとして活動。本年よりさらにインターネットにフェローとして復帰。1971 年京都府京都市生まれ。



- 加藤 幹也

株式会社環境エネルギー投資 ディレクター

2001 年 イー・アクセス株式会社に新卒一期生で入社し、ブロードバンドの営業マーケティングを担当し同社上場を経験。

2005 年 ソフトバンク BB 株式会社(ソフトバンク株式会社)入社後、コンテンツ事業部門での IPTV 事業「BBTV」サービスの企画及び著作権放送分野の渉外分野を担当。

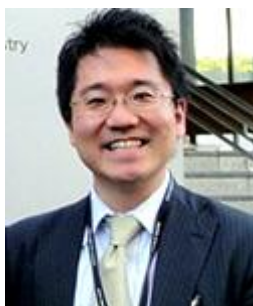
2006 年 ソフトバンク株式会社(現ソフトバンクグループ株式会社)社長室兼務。

2008 年 6 月より経済産業省商務情報政策局メディアコンテンツ課に出向し技術分野からコンテンツ産業の振興を担当。

2010 年 ソフトバンク株式会社に帰任し、Ustream Asia 株式会社出向し Ustream のサービス企画及び著作権処理部門を担当。

2011 年 東日本大震災を機にソフトバンク株式会社社長室に戻り、ソフトバンクの自然エネルギー事業及び電力小売り事業の事業推進を担当。

2015 年 株式会社環境エネルギー投資に入社し、電力自由化をテーマにしたベンチャーキャピタルファンドを運営。



- 倉本 泰信

京都大学産学連携本部 客員教授

富士通在籍時には、主にコンピュータ関連ビジネス、特に、海外市場、新規ビジネスの開拓を 30 年以上行ってきた。

米国シリコンバレーに、1975 年から 4 年間、1985 年から 8 年間、計 12 年間駐在。その間、企業買収、新会社設立、新ファイナンスモデル開発などに参与した。2005 年 11 月、英国南西イングランド地域開発公社に請われて、英国南西イングランド地域への新しい投資誘致モデルを策定、実施するため日本事務所の駐日代表となる。

2010 年 4 月、英国政権交代により地域経済政策の変更で日本事務所閉鎖。同年 6 月、東京大学政策ビジョン研究センターシニアリサチャー(2015 年 5 月迄)同年 9 月、京都大学産官学連携本部客員教授、主に共同研究東京代表として企業との共同研究、共同研究講座の推進を担当している。また大学での講座はイノベーションデザイン、マネージメントを担当。

講師歴は立命館大学、一橋大学で日本 IT 産業のサバイバル戦略等も担当した。



- 虞都 韻

株式会社日本医療機器開発機構 取締役

IT・Web 分野でのマーケティングを含む新規事業開発全般に特化。住友商事株式会社を経てエムスリー株式会社にて Web マーケティング全般を経験。

2011 年より株式会社リブセンスにて新規事業責任者を担当。その後も IT ベンチャーなどで中心メンバーとして数多くの Web サービス立ち上げを担当しており、創業期の企業から大企業に至るまでさまざまな組織の規模・状況に応じた IT・Web 関連の新規事業開発の経験が強み。



- 坂本 大

ブレインアンドキャピタル USA シニアパートナー

27年の駐米経験を通して、環太平洋地域における事業戦略構築、ベンチャー投資、ビジネスインキュベーション、クロスボーダーM&A・事業提携などに取り組む。NECのグループヴァイスプレジデントとして、ITサービス分野のコーポレートベンチャーファンド設立などの業務に従事。Niteo パートナーズ役員、オープングループ役員、エンタープライズネットワーク、ヴィディエントシステムの役員、そしてサステイナブルシリコンバレー(NPO)の会長を歴任。

現在エコプレクスサスジャパンの取締役会長、ブレインアンドキャピタル USA のシニアパートナー、そしてサンタクララ大学院ボードアドバイザー(Master of Science – Global Innovation)を務めながらシリコンバレーにてベンチャー投資やスタートアップの事業支援に従事。



- 隅田 剣生

株式会社産学連携研究所 代表取締役

プラント機器メーカーでプロジェクト営業、その後、NEDO、大阪大学、文部科学省等の産学官連携コーディネーターを担当し、現職。大阪府立大学総合科学部卒、神戸大学大学院海事科学研究科修了。



- 瀬川 秀樹

クリエイブル 代表

(株)リコーに 32 年半勤め、光ディスクの精密加工技術者、光ディスクの国際標準化委員会(ISO)の日本代表団メンバー、技術企画、シリコンバレーにおける CVC(Corporate Venture Capital)と新規事業の立ち上げ／撤退、新規事業開発センター副所長、未来技術総合研究センター所長などを歴任。常に新しいコトや多くの新規事業の立ち上げに挑戦し続けてきた。

近年では、これからの世界にとって非常に重要である BOP(Base of the Pyramid(世界の貧困層))の project を立ち上げ、インドの農村部での活動も行ってきた。2014 年 9 月に(株)リコーを退職し、「新規事業のコンサルティング」「若手育成」などを行う Creable(クリエイブル)を開設。事業戦略策定のメンタリングや多くの講演・研修・Workshop 等を手掛けている。



- 竹居 邦彦

ダブル・スコープ株式会社 取締役

1986 年中央大学経済学部卒業、青山学院大学国際ビジネス専攻・ファイナンス課程終了、横浜銀行に入行、支店勤務を経て証券業務に携わる。

2001 年より独立系ベンチャーキャピタルでインベストメントマネージャーとしてハンズオン型投資業務に従事。投資分野は素材、バイオ、半導体関連などグローバル展開を目指すテクノロジー系ベンチャー企業など。

ダブル・スコープ株式会社 (WS) は 2005 年リチウムイオンバッテリー用セパレーター

一の開発・製造を目的に設立。WSは投資先の1社、事業構想段階から計画に参画、会社設立と同時に取締役就任。WSは2011年12月東証マザーズ上場、2012年3月より取締役・CFOに就任、現在に至る。テクノロジー系ベンチャーの成長に貢献できれば幸いです。



- 田所 雅之

Fenox Venture Capital

日本と米国シリコンバレーで合わせて、これまで4社を起業してきたリアルアントレプレナー。

現在は、Skillhubというスタートアップを経営しながら、Fenox VCのパートナーとして、日本、東南アジア地域の投資を担当。Pioneerというヨーロッパのスタートアップメディア・イベント運営団体のアジア地区のアドバイザー。”成功するスタートアップの作り方”という起業家向けの1日レクチャーを毎月開催(日本語と英語の両方)。



- 田中 浩也

慶應義塾大学環境情報学部 准教授

1975年札幌市生まれ。2003年東京大学工学系研究科社会基盤工学専攻修了。

博士(工学)。2005年に慶應義塾大学環境情報学部(SFC)専任講師。

2008年より同准教授。2010年マサチューセッツ工科大学建築学部客員研究員。

2011年に「ファブラボ鎌倉」を設立。2012年慶應義塾大学SFC研究所「ソーシャ

ルファブリケーションラボ」設立。

デジタルファブリケーションの可能性を「技術」と「社会」の両面から研究・実践している。第9回世界ファブラボ会議(横浜)実行委員長(2013)、経済産業省「フロンティアメーカーズ育成事業」プロジェクトマネージャ(2014)、総務省「ファブ社会の基盤設計に関する検討会」座長(2015)などを歴任。2015年より文部科学省 COI「感性とデジタル製造を直結し、生活者の創造性を拡張するファブ地域社会創造拠点」慶應グループ研究リーダー。



- 鶴下 直也

JN Biosciences LLC Managing Partner

1984年7月 京都大学大学院理学研究科終了、理学博士号を授与される

1984年8月～1987年11月 スタンフォード大学およびカリフォルニア大学にて
博士研究員 抗体遺伝子の転写調節および組換え機構の研究

1987年12月～1991年8月 京都大学ウイルス研究所助手 抗体遺伝子の発
現調節機構の研究

1991年9月～2005年3月 蛋白工学部門ディレクター Protein Design Labs,
Inc. (現、PDL BioPharma, Inc.) 抗体医薬の研究開発

2005年4月～現在 バイオテック・コンサルタント 日米両国の製薬企業にてタンパ
ク質医薬研究開発への助言

2005年11月～現在 Cofounder & Managing Partner JN Biosciences LLC
(Mountain View, CA, U.S.A.) 新規抗体工学技術と抗体医薬の研究開発



- 中嶋 泰雄

東北大学 特任准教授

東北大学研究推進本部特任准教授。2013 年から東北大学にて東京大学・京都大学・大阪大学・東北大学の技術シーズに特化したテクノロジーベンチャー育成を目指す新たな官民ファンド(文部科学省大学出資事業)の企画制度化を担当。それ以前は、日立製作所のコーポレートベンチャーキャピタルにて、ベンチャーキャピタル子会社を設立し、パートナーとして IT、材料デバイス分野等に投資。スタートアップから上場ベンチャーの投資先企業の運営やアライアンス構築など事業開発をハンズオン支援。日立グループで事業やシステム企画、PMI 等。東京大学大学院工学系研究科テクノロジーマネジメントコース派遣。経済産業省のベンチャー関連の委員、中小・ベンチャー企業支援や技術移転の団体などのアドバイザー等として、オープンイノベーション、エコシステム構築、起業家支援、教育等を推進。法政大学経卒。



- 秦 充洋

株式会社ミレニアムパートナーズ 代表取締役

ボストンコンサルティンググループ(BCG)にてプロジェクトマネジャーとして通信、電力、自動車など幅広いプロジェクトを指揮、また起業家としてベンチャー企業の創業・経営・上場経験を持つ。現在は起業家育成・大企業の新規事業支援など、幅広く活躍。一橋大学大学院 MBA コース(HMBA)講師、グロービス経営大学院講師。著書「プロ直伝！成功する事業計画書の作り方」(ナツメ社、2015 年)



- 林 千晶

株式会社ロフトワーク 代表取締役

1971年生、アラブ首長国育ち。2000年にロフトワークを起業。Webデザイン、ビジネスデザイン、コミュニティデザイン、空間デザインなど、ロフトワークが手がけるプロジェクトは年間530件を超える。

書籍「シェアをデザインする」「Webプロジェクトマネジメント標準」「グローバル・プロジェクトマネジメント」などを執筆。2015年4月、森林再生とものづくりを通じて地域産業創出を目指す「株式会社飛驒の森でクマは踊る」を設立、代表取締役社長に就任。



- 林 光洋

株式会社ベータカタリスト 取締役

1994年4月、藤田観光株式会社に入社。2003年12月に株式会社ディー・エヌ・エーに入社。子会社社長を経て、2007年執行役員 EC 事業本部長に就任。

大手企業とのJV設立や協業を手かけ黒字化まで推進。2013年3月に同社を退社後、ベンチャーや大手企業の各種プロジェクトを支援。2015年4月株式会社ベータカタリスト取締役に就任。



- 本藤 孝

FinTech GlobalCapital, LLC 代表パートナー

アンダーセンコンサルティング(現アクセンチュア)にて、IT 及びマネージメントコンサルティングに従事。その後、NIF ベンチャーズ(現大和企業投資)でヨーロッパ、イスラエルへのベンチャー投資を行う事業部の立ち上げメンバーとして参画する。フランスのベンチャーキャピタルへの出向を含め、多くのベンチャー投資を実施。自社が上場し、その後合併するなどを経験し独立。ベンチャーキャピタルの FGC を創設し、55 百万ドル(約 65 億円)のファンドを組成。同社の代表パートナーに就任し、国内外への投資に関わり、投資先の取締役を歴任。シード段階からの出資も手掛け、投資先数社のファウンダーメンバーとして創業し経営に参画。FGC としての活動と共に、主に大学発(主に九州エリア)の案件に投資を行う QB Capital を創設し、約 30 億円のベンチャーファンドを組成。同社の代表パートナーに就任。



- 前田 信敏

ウエルインベストメント株式会社 投資部長

早稲田大学政治経済学部経済学科卒業、早稲田大学大学院商学研究科ビジネス専攻修了(MBA)。大和企業投資(株)勤務等を経て、2008 年よりウエルインベストメント(株)投資部長。2009 年より早稲田大学アントレプレヌール研究会理事。2012 年より文部科学省・大学発新産業創出拠点プロジェクト事業プロモーター。2013 年より早稲田大学インキュベーションセンターシニアコンサルタント。大学発ベンチャー企業をはじめとする、高い技術力や斬新なビジネスモデルを持つアーリーステージのベンチャー企業に対する支援を長年手がけている。



- 南方 郁夫

クラウド・テン株式会社 代表取締役

大阪大学 基礎工学部 情報工学研究科修了。パナソニックで約 30 年間勤務。その間、本社 R&D 部門においてソフトウェアの研究・開発の責任者としてパソコン、EWS、ワープロ、デジタル TV、携帯電話などの事業化立ち上げを主導。

また、国際標準化、コンソーシアムの創設やボードメンバーの経験も多数(DLNA、CE Linux Forum、Java Community Process、Marlin DRM など)過去 3 回、合計 8 年間にわたってシリコンバレーでの駐在経験。

①UC バークレー EECS 客員研究員②バークレーでの人脈がきっかけとなってシリコンバレーのスタートアップと EWS 向けソフトウェアの共同開発③米国パナソニック R&D 会社のプレジデント。その間に、シリコンバレーでクラウドを活用したオンラインゲーミング事業を行う社内ベンチャーを起業 2011 年末にパナソニックを退職してクラウド・テン株式会社を創業。

シリコンバレーの経験と人脈を活かして日本企業の新規事業創出やシリコンバレーの企業の日本戦略のコンサルティングを行うとともに、独自のクラウドサービスの開発、事業化に取り組んでいる。



- 三木 寛文

MK Management, Inc. 代表取締役

早稲田大学商学部卒業。モバイルインターネット領域の成長ベンチャー数社において、約 15 年の事業開発経験を持つ。特に、グリー株式会社では初期メンバーとして入社、GREE モバイル化、大手通信事業者や各種コンテンツ企業との提携、広告宣伝部やゲームプラットフォーム事業の立ち上げ、中国事業統括など、数多くの新規事業開発、提携案件を担当する。

現在はインターネット領域全般のベンチャー支援を手がけ、数十社の経営アドバイザーを歴任。事業開発や営業戦略策定、資金調達アドバイス、人事組織設計のサポート、提携先の紹介や採用支援などをハンズオンで行う。また、Digital Health Meetup アドバイザーとして、医療/ヘルスケア領域の技術ベンチャーのビジネス支援も行う。



- 八重樫 馨

i-BuC Ltd. President & CEO

ドイツ系化学企業、Hoechst（現 医薬部門は、Sanofi 社、スペシャリティケミカルは、Clariant 社、基礎化学は、Celanese 社）で、新事業開発、半導体製造用関連機器事業の立ち上げ、日本企業との共同事業設立等を行う。

リチウム電池用セパレーター、人工心肺用中空糸、水処理用脱気膜の3事業部門を持つ Celgard Inc.（ Polypore International Inc.を経て、旭化成に売却。）のマネジメント・チームとして経営に参画、日本法人セルガード株式会社代表取締役社長兼務。同グループの世界最大の鉛電池用セパレーター企業 Daramic Inc. のアジア・太平洋統括や、同グループ中国現地法人 Battery Separator Shanghai Co., Ltd. の取締役を兼務。

シリコンバレーのナノテク企業 NanoGram Corporation の上席副社長および同日本法人ナノグラム株式会社の代表取締役社長に就任。同社の帝人株式会社への売却後、帝人グループのメンバーとして同社の経営に携わる。事業創造やベンチャー起業支援による産業創成の為に、仲間と共にアイ・バック株式会社を設立する。現、同社代表取締役社長、東京農工大学非常勤講師。



- 山本 辰久

ボードレス・プランニング株式会社 代表取締役

京都大学大学院工学研究科交通土木工学専攻修了。ボストン大学大学院都市計画学科修了(MCP)。横浜市役所都市計画局勤務の後、株式会社日本総合研究

所総合研究部門で公的機関の主要計画立案・改革支援、企業の中期経営計画策定などととも、ビジネスモデル特許申請も経験。

この間、神戸大学大学院経営学研究科助教授として出向。2011年に起業し、境界にこだわらないボーダレスな視点から、医療、運輸、食品、製造、環境関連業界をはじめ、経営幹部・管理職らを対象とした人材育成・教育研修とともに、事業計画立案支援、海外進出支援にも取り組む。環境 NGO カーボンシンク理事。



- 横倉 隆

東京理科大学 常務理事

’71年東京理科大学理学部物理学科卒。東京光学機械(株)(現(株)トプコン)入社。光学技術者として民生、産業、医療、測量向けの様々な光学機器の研究開発を行った。

その後は開発マネージャーとしてドイツや米国の大学との共同研究を担当。執行役員就任後、技術本部長、産業機器と医療機器の事業部長を歴任し’07年より取締役社長。国内外でのM&Aや産学連携を手掛けた。

’11年に相談役。現在は特別アドバイザー。同年より東京理科大学常任理事。その他として東商議員としてもものづくり推進委員会共同委員長。大学では産学連携と収益事業を担当しているが今後VCを立ち上げベンチャー支援に取り組んでいく予定。



(順不同)